

1996年度研究発表会記録

平成8年度信州大学環境科学研究会研究発表会が、下記のプログラムで34名の参加者のもとに開催されました。

日時 1996年12月14日(土) 10:00—16:00

会場 信州大学旭会館3階 大会議室

(発表時間は質疑応答を含め15分)

1. 10:00—10:15 地域生態学とビオトープづくり：土田勝義(農学部)
 2. 10:15—10:30 近自然河川工法へのひとつのアプローチ—砂防河川における瀬・淵区分とその特性—：宮崎敏孝，小林寛之(農学部)
 3. 10:30—10:45 千曲川鼠橋付近をモデルとした河川生態系に関する学術調査：沖野外輝夫(理学部)
 4. 10:45—11:00 千曲川中流域における流量変化と水質の動向：渡辺義人(繊維学部)
- コーヒーブレイク
5. 11:15—11:30 環境研究と環境教育のあいだ：加藤憲二(医短部)
 6. 11:30—11:45 自然環境下で見られる糸状珪藻 *Melosira* spp.の生態：中本信忠，星野知子，池田大介，山本満寿夫(繊維学部)
 7. 11:45—12:00 松本市周辺山麓のシダ植物相—日本列島からみた生物地理—：佐藤利幸，白鳥桂子，藤山静夫(理学部)

..... 昼 食

8. 13:00—13:15 樹木生葉蛍光スペクトルと生育ストレスとの関係について：斉藤保典，加納光益，川原琢也，野村彰夫(工学部) 宮ヶ原太郎，宮崎敏孝，山寺善成(農学部)
 9. 13:15—13:30 大気環境評価のためのライダー計測技術の開発：西岡高明，斉藤保典，川原琢也，野村彰夫(工学部) 岩井邦中(教育学部) 星川和俊(農学部)
 10. 13:30—13:45 阪神・淡路大震災による農村環境の変化—震災2年目の淡路島の農村集落の状況—：木村和弘，林剛一(農学部)
 11. 13:45—14:00 砂層中の汚染物質の挙動について：棚橋秀行(工学部)
- コーヒーブレイク
12. 14:15—14:30 中部山岳地域における河川水質に及ぼす地質環境の効果：桜井哲郎，福島和夫(理学部)
 13. 14:30—14:45 信大環境科学年報にみる環境教育に関する検討：張兵(医学部)
 14. 14:45—15:00 環境教育に関する考え方：丸地信弘(医学部)
 15. 15:00—15:15 南ドイツと長野県の水環境の比較：中本和宏，富所五郎，松本明人(工学部)
 16. 15:15—15:30 須高地区の河川水酸性化の現状：川上 浩



研究発表会の際のスナップ写真(1996年12月14日)